参考資料１

（参考）計画の構成（案）

１章．はじめに
- ○計画策定の背景、目的、策定主体
- ○計画の区域、計画の期間

・計画策定の目的、策定に至った経緯をまとめるとともに、対象となる区域、実施期間などの条件設定を行う。

２章．地域公共交通の現況と課題整理
- ○但馬地域の現況
- ○公共交通の役割
- ○課題整理

・現況整理の結果を踏まえ、但馬地域における公共交通の必要性、役割を検証するとともに、現状の問題点及び今後の公共交通施策の実施に向けた課題を抽出する。
・課題は、但馬地域の特性と実情に合わせたものとする。

３章．地域公共交通計画の方針
- ○基本理念、基本方針

・但馬地域の公共交通計画が、地域住民が将来にわたり公共交通を利用できる計画となるよう、理念と方針を設定する。

４章．計画の目標及び目標達成のための施策
- ○計画の目標
- ○目標達成のための評価
- ○施策体系、施策の内容

・但馬地域の実情に合わせ、現実的で実現可能な目標と施策の設定を行う。
・施策については、地域住民のニーズに合わせるとともに、公共交通を維持するために必要な、住民の協力を求めるものとする。
・また、今後の人口動態、構成や人材不足を考慮し、あらゆる交通手段や IT 技術などの活用を取り入れていく。

５章．計画の達成状況の評価
- ○評価体系、評価の考え方、評価基準
- ○実施スケジュール

・評価手法は、プロセスを重視する PDCA サイクル手法で社会情勢などの変化に対応する柔軟な判断や迅速な実行を図れるようにする。
・評価基準は、無理のない範囲で持続できる計画となるよう設定する。
・実施スケジュールは、５年を１ターンとし、評価手法と合わせて設定する

資料編

■但馬地域の概況
- ○位置・地勢、人口の推移、分布、主要施設
- ○観光資源
- ○地域住民の移動

・公共交通に関連した、但馬地域の現状を、人口、土地、目的地、移動方法などの観点からとりまとめる。
・持続的な公共交通を維持するために、利用者層、利用する場所、時間など、ニーズの把握を主観としてとりまとめる。

■地域公共交通の状況
- ○公共交通体系
- ○公共交通空白・不便地域
- ○他の輸送資源
- ○各市町の福祉施策

・但馬地域における、自動車等により自力で移動できない方の移動方法の現状をとりまとめる。
・今後、地域のあらゆる移動手段を活用していくため、公共交通以外の輸送資源をとりまとめる。

■上位・関連計画の整理
- ○広域（区域マス、ひょうご公共交通 10 カ年計画等）
- ○市町村まちづくり計画（総合計画、都市マス等）
- ○市町村関連計画（公共交通網形成計画、福祉計画等）
- ○その他

・広域及び市町に分けて、まちづくり、交通、移動に関する関連計画について整理し、但馬地域としての課題、施策などについてとりまとめる。
・また、移動が不可欠な福祉の観点について、関連計画としてとりまとめる。

■地域住民の利用意向
- ○地域住民（豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町）へのアンケート調査結果
- ○試験運行利用者へのアンケート調査結果

・各市町への住民利用意向調査、試験運行の際に利用者へのアンケート調査を実施する。
・これらの調査結果を、課題の抽出、施策へ反映しやすい形でとりまとめる